

東急電鉄株式会社

今回、ホームと車両乗降口の段差・隙間(以下、「段差・隙間」という。)に関する情報を大手民鉄で初めて当社ホームページおよび東急線アプリにて公表します。バリアフリーガイドラインに定める段差・隙間の目安値(以下、「目安値」という。)を満たす車両ドアから乗降することで、よりスムーズにご利用いただけるようになります。また、段差・隙間に関する情報に加えてエレベーター、エスカレーター、階段、ホーム屋根、車いすスペースの位置を一画面で確認することができ、ご利用前に乗車駅と降車駅のこれらの情報をあわせてご確認いただくことで、お客さま自身でより便利な乗降口を事前を選んでいただけるようになります。



(※2)一箇所でも目安値を概ね満たしている箇所があるホーム数

本取り組みの詳細は別紙の通りです。

以上

(別紙)

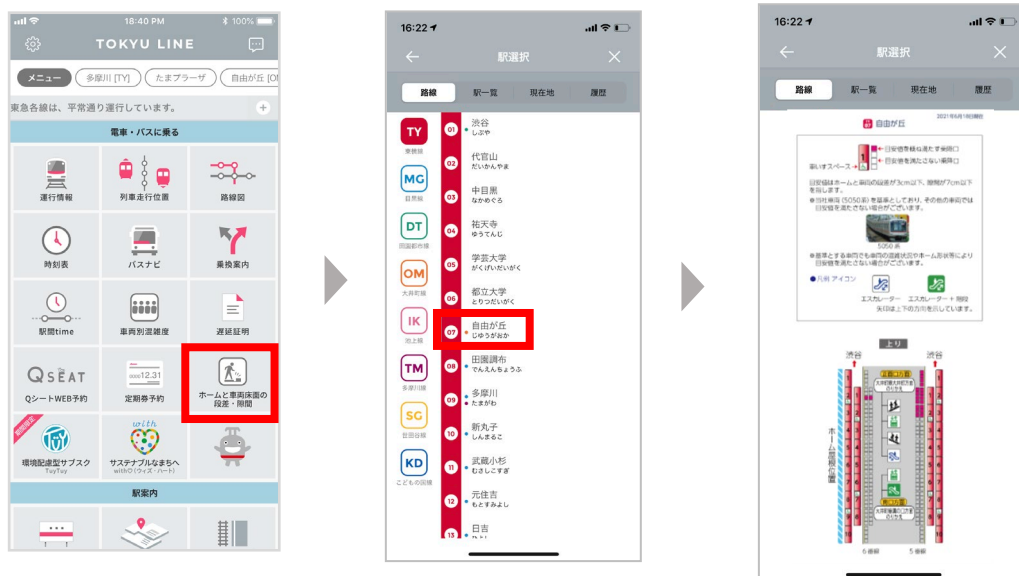
■段差・隙間に関する取り組み

(1) 東急線全駅の段差・隙間に関する情報

○ 当社ホームページ (URL: https://www.tokyu.co.jp/railway/service/barrier_free/maintenance/)

※6月から公表しています。

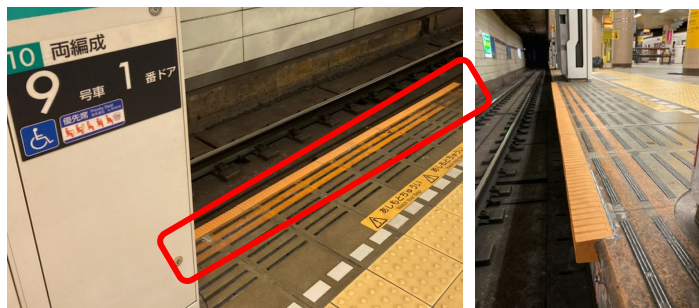
○ 東急線アプリ (操作イメージ)



(2) 段差・隙間を縮小する工事

各列車の車いすスペースのある車両ドアの乗降口(目安値を満たす各ホーム1箇所)(※1)において、くし型状ゴムを整備し、可能な限りホームと車両の隙間を縮小する工事を進めています。2021年度は以下の4箇所にて設置が完了しました。

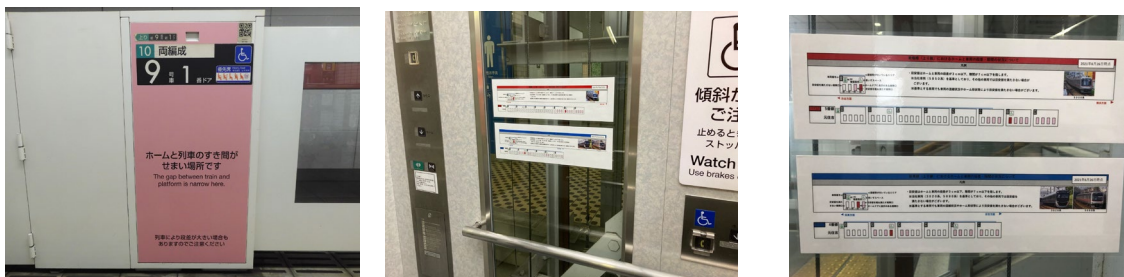
整備箇所: 田園都市線/渋谷駅1番線、桜新町駅2番線 大井町線/大井町駅1・2番線



乗降口におけるくし型状ゴムの設置例

(3) 段差・隙間の情報をホーム上の乗降口などに掲示

当社では目安値を満たす車いすスペースのある車両ドアの乗降口(各ホーム1箇所)(※2)にピンク色のシンボルサインを掲示しています。あわせてエレベーターなどのバリアフリールート上においても段差・隙間の情報を掲示しています。



(※1) 国土交通省にて定める「公共交通機関の旅客施設・車両等・役務の提供に関する移動等円滑化整備ガイドライン」(2019年10月改定)

において車いすご利用のお客さまの単独乗降と列車走行の安全確保を両立するホームと車両乗降口の段差・隙間について、段差3cm・隙間7cmを当面の目安値として定めています。

(※2) 当社車両を基準としており、一部車両や車両の混雑状況、ホーム形状等により目安値を満たさない場合があります。

(参考)

■東急線アプリによる情報提供

「東急線アプリ」では最新の運行情報、運休や遅延など生じた際の迂回ルート検索、リアルタイムな列車走行位置などの情報を提供しています。

また、「混雑の見える化」として、車両別混雑度の表示、東急線全駅における改札口周辺の様子を配信する「駅視-vision(エキシビジョン)」や、定期券うりばの待ち時間がわかる「定期券駅視-vision(エキシビジョン)」など、情報配信の強化に努めています。「バリアフリー」としては、東急線全駅の構内図やホーム図、東横線・目黒線の車両ごとの車いすスペース位置・優先席の位置を表示しています。

(1)混雑の見える化

「時刻表」から

列車時刻を選択していただくと、該当列車の一編成ごとの混雑度および車両ごとの混雑度が確認できます。



※全路線(世田谷線・こどもの国線を除く):一編成ごとの混雑度表示
東横線・目黒線・田園都市線 :車両別混雑度表示

「列車走行位置」から

リアルタイムな列車走行位置をご覧いただきながら、車両ごとの混雑度ははじめとする車両情報も確認できます。



一スペース位置・優先席位置・混雑度の傾向値を表示

田園都市線 :混雑度の傾向値(一部車両で、リアルタイム混雑度・車内温度・弱冷房車位置を表示)

「改札混雑度(駅視-vision)」から

東急線全駅の各改札口の混雑度をリアルタイムで確認できます。



(2) バリアフリー情報

「構内図」から

駅構内やホーム出口などを事前チェックすることで、スムーズに駅を利用できます。



以上